※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　農業科

教科	農業	科目	造園計画	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「造園計画」　（海文堂）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間生活における快適性を確保する上で、緑地環境は景観の提供・微気象の調整・やすらぎの場の提供などの役割を果たしています。緑地環境の計画や設計に興味関心を持って、空間を創造できるような人物相を望みます。

2　学習の到達目標

・緑地空間の計画・設計に必要な知識と基礎的な技術を習得する。
・緑地の機能や役割を理解し、環境に応じた空間を創造できる能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	緑地や植栽について興味関心を持ち、自ら意欲的に取り組むと共に、科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。	植物の管理について諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する創造的な能力を身につけている。	植物の管理について基礎的な技術を身につける。合理的に計画し、植物管理技術およびバイオ技術を適切に活用している。	基礎的な知識を身につけ、技法や使用する機械の特性と安全確保を理解し、その重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 実習記録表（ノート） レポート・発表 発表 自己評価　等	学習状況の観察 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 出席状況 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	緑地環境の役割・造園の様式・製図とデザイン	・緑地環境の役割 ・造園の様式 ・造園製図の基礎 ・校内ビオトープの管理 ・使用する器具・機械類の使用方法と安全確保 ・	○ ○ ○ ◎ ◎	 ○ ○ 	 ◎ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	a:緑地空間について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査
9 10 11 12	庭園の計画・設計・施工技術	・校内ビオトープの管理 ・使用する器具・機械類の使用方法と安全確保 ・設計の手順 ・ミニ庭園の設計・施工 ・制作ミニ庭園の管理	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ 	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎ ○	a:緑地空間について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査
1 2	庭園・公演の計画	・校内ビオトープの管理 ・使用する器具・機械類の使用方法と安全確保 ・都市緑地の現状 ・農村緑地の必要性 ・まとめ	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ 	◎ ○ ◎ ◎ ○	a:緑地空間について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。